

態

TAIHEN

変

世界初演
World Premiere

ブレイン

Photo: Hikaru Toda Visual image: Mitsuru Tokisato

BRAIN

愛知県芸術劇場 小ホール
Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

2025 9/26 Fri 18:30
9/27 Sat 18:30
9/28 Sun 14:00

脳、身体、人工知能の関係から
生命の尊厳について問う。
態変42年におよぶ身体的探究から
生まれる最新作。

国際芸術祭あいち2025

灰と薔薇のあいまに

Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses



時里充 《ハンドメイドムーブメント season1 次体の事柄は布に覆われてしまっている。》2022

態変 TAIHEN

ブレイン BRAIN

世界初演・新作
World Premiere, New Commission

ダンス Dance



English
available online

2025
9/26 Fri 18:30 ★
9/27 Sat 18:30 ♥
9/28 Sun 14:00 ♠♥

※ 受付開始：開演45分前／開場：開演30分前

- ★ ミート・ザ・アーティスト
(終演後アーティスト等とのトークや対話)
- ♣ リラックス・パフォーマンス公演
(途中退出や声出しOKなど、鑑賞マナーをゆるくした上演)
- ♡ 託児サービスあり(有料／要事前予約)

上演時間：80min
言語：ノンバーバル
未就学児入場可

愛知県芸術劇場 小ホール Aichi Prefectural Art Theater, Mini Theater

名古屋市中区東桜 1-13-2
地下鉄東山線または名城線
「栄」駅下車、徒歩3分

チケット

一般前売	U25前売	当日券	ペアチケット (前売のみ)	座席
¥3,500	¥2,000	前売 + ¥500	¥6,500	自由席

お得なセット券もあります。詳しくはこちら



取り扱い窓口

▶ アイ・チケット i ticket
<https://clanago.com/i-ticket>
TEL: 0570-00-5310

※ 車いす席をご予約の方は
上記までお電話ください

▶ チケットぴあ PIA
<http://t.pia.jp>

▶ Artsticker
<https://artsticker.app/events/76035>

▶ 愛知芸術文化センタープレイガイド
TEL: 052-972-0430
平日 10:00-19:00 土・日・祝 10:00-18:00
月曜定休(月が祝日の場合は翌日)

チケットに関する問合せ

クラシック名古屋 TEL: 052-678-5310 (10:00-16:00 土日祝休み)



金満里率いる態変の表現は、地面に這いつくばる圧倒的な存在感の身体によって、観る者の美意識や価値観を強く揺さぶる。今回のテーマは「脳」。人工知能(AI)が我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしつつある近年に応答し、脳による制御から外れる彼らの身体で、脳と身体のねじれた関係を考察する。コラボレーターには、メディア技術を用いた作品を制作するシステム・アーキテクトとして時里充を迎える。現代において、いかに私たちの存在(生命)への尊厳は保たれるのか—態変が社会に問う挑戦的新作。

作・演出：金満里
システムアーキテクト：時里充
楽曲提供：ボロット・バイルシェフ
* 巻上公一プロデュース作品「チュルク・カバイ」より
_underline
出演：井尻和美、池田勇人、金満里、小泉ゆうすけ
下村雅哉、向井望、山崎ゆき、渡辺綾乃
舞台監督：大田和司
照明：三浦あさ子
音響：佐藤武紀
美術：吉田顕(Yoshida studio)
メイク：倉橋かおり

協力：伊丹市立演劇ホール

態変 TAIHEN

1983年大阪府で結成。大阪府拠点。「身体障害者の障りじたいを表現力に転じ未踏の美を創り出すことができる」という金満里の着想に基づき、1983年に創設。作・演出・芸術監督を自身がポリオの重度身体障害者である金が担ってきた。その方法は、身体障害者がその姿態と障りの動きとをありのままに晒すユニタードを基本ユニホームに、健常者社会の価値観では醜いとされるその身体から、従来の美醜観を掻き回すような表現を引き出す。従来、身体表現に求められてきたコントロールと再現性に真っ向から反する、一期一会の表現だと言える。その舞台を通して観客も、自身の日常を超え、いつしか非日常のパフォーマーの身体と共に生き、自身の身体を解放させ、命に触れるのである。

金満里 Kim Manri

態変主宰・芸術監督・舞踊家・演出家
日本で活躍した韓国古典芸能家・金紅珠(キム・ホンジュ)の末娘として生まれる。3歳でポリオに罹患、全身麻痺の重度身障者となる。1983年、劇団態変(当時)を旗揚げ主宰。一貫して芸術監督を務め、態変と自身のソロを合わせ83作品の作・演出・出演を行なう(2024年12月時点)。1992年ケニア公演を皮切りに、アジア・ヨーロッパでの海外公演も多数。国内外で身体表現ワークショップを実施、障り・健常を問わず指導を行なっている。

時里充 Tokisato Mitsuru

1990年兵庫県生まれ。画面やカメラをめぐる実験や観察を通じて、認知や計量化といったデジタル性に関する作品を制作・発表している。小林椋とのユニット「正直」などでライブパフォーマンスも行う。主な展覧会に、『エマーゲンシーズ! 022「視点ユニット」』(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]、2014)、第12回恵比寿映像祭(東京都写真美術館、2020)、『ON』(清須市はるみ美術館、2022)、国際芸術祭地域展開事業『なめらかでないしぐさ—現代美術 in 西尾』(西尾市岩瀬文庫、2023)などがある。

国際芸術祭「あいち 2025」開催概要

テーマ：灰と薔薇のあいまいに A Time Between Ashes and Roses

芸術監督：フール・アル・カシミ

[シヤルジャ美術財団理事長兼ディレクター／国際ビエンナーレ協会(IBA)会長]

会期：2025年9月13日(土)～11月30日(日) [79日間]

会場：愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなか

主催：国際芸術祭「あいち」組織委員会 共催：愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

助成：令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、(一財)地域創造
公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド



社会創造アーツファンド
公益社団法人企業メセナ協議会

国際芸術祭「あいち」組織委員会

〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜 1-13-2 愛知芸術文化センター内

✕ AichiTriennale_ @ aichi_triennale Aichi2025 aichi_triennale



公式Webサイト
<https://aichitriennale.jp/>